

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしきたり

第106号



〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

生と死の心詞論・完（学習センター所長 吉川 栄治）	1
国宝展を訪ねて（滋賀大学名誉教授 梅澤 直樹）	2
かいつぶり文化祭と研修旅行の報告	3
滋賀学習センターの勉強会のご案内	4
学習相談会のご案内	5
事務室からのお知らせ	6
公開講座のご案内	8



生と死の心詞論・完

学習センター所長 吉川 栄治

「死にたまふ母」が短歌雑誌『アララギ』に掲載された1913年から1世紀、歌はどんな詞^{ことば}で日本人の心を描き出してきただろうか。3回にわたった小文の最後に、生と死を詠じた秀歌をいくつか紹介したい。

◆いちはつの花咲きいでて我目^{わがめ}には今年ばかりの春行かんとす (正岡子規)

近代短歌の創始者正岡子規。死の前年35歳の歌である。脊椎カリエスの痛み^{いたみ}に苦しむ歌人は淡々と死をみつめている。いちはつはアヤメ科の多年草で、5月藤紫色の花をつける。「今年ばかり」が切ない。

◆其子等に捕へられむと母が魂蛸^{たま}と成りて夜を来たるらし (窪田空穂)

青白く群れ飛ぶ蛸。子どもたちが無邪気に追いかける。作者は、幼い2児を残し急死した亡妻の魂をその蛸にみたのである。そして29年後。次男はシベリアの収容所で死亡、空穂は慟哭の長歌を詠んだ。

◆さがし物ありと誘^{いざな}ひ夜の蔵に明日往く夫は吾を抱きしむ (成島やす子)

わずか25字に、場面と心情のすべてが浮かび上がる。出征祝いの宴席。作者は台所で忙しく立ち働いている。客の挨拶がとぎれない夫が口実をつけて席を立ち、「探し物があるから手伝って」と作者を呼ぶ。最後の夜、親類縁者のさざめきが聞こえてくる蔵のなか、言葉のない永遠の抱擁である。

◆汽車の窓ま近に夫と向ひ居てすがらむばかりの吾が心なり (児島芳子)

駅のホーム。小旗を振って肉親を戦地へ送り出す万歳の声にかき消され、出征する夫の言葉も聞き取れない。作者はその顔を食い入るよう^{くわい}にみる。すがりつかんばかりの思いは言葉にならない。

◆愚痴蒙昧^{もうまい}の民として 我を哭かしめよ。あまりに惨く死にしわが子ぞ (釈迦空)

歌人釈迦空は本名折口信夫、民俗学の巨人である。時代を代表する学者が無知で愚かな民のごとく、悲痛にもだえている。「わが子」は実子でも幼い子でもない。激戦の硫黄島で戦死する前年、37歳のときに折口の養子となった弟子の藤井春洋のこと。異性を愛せない折口が最も愛した「わが子」だった。

◆大き骨は先生ならむそのそばに小さきあたまの骨あつまれり (正田篠枝)

被爆直後の広島。みたものをそのままによむ「写生」の見本である。一言の説明もいらな^いだろう。

近代の幕開けとともに和歌は文化の頂点からすべり落ち、あまたの「カルチャー」のひとつになった。それでも、上の歌々のような心をほかの形式で表現できるだろうか。歌には時代を超越してつながってゆく何物か——日本人の心と詞の原郷がある。何度も読み返せば、それを感じることができるだろう。

◆もの忘れまたうち忘れかくしつづ生命^{いのち}をさへや明日は忘れむ (太田水穂)

老いは潮が満ちるよう^せに来る。生の実体感を失い、自分が遠いものになる日も来るにちがいない。

◆左様ならが言葉の最後耳に留めて心しづかに吾を見給へ (松村英一)

作者90歳、人生最後の歌。死を意識した別れの挨拶で、自身が創刊した雑誌に掲載された。私の「さようなら」の言葉を耳に留め、心しづかにこの老人の終わりを見送ってほしいというのである。

◆手をのべてあなたとあなたに触れたきに息が足りないこの世の息が (河野裕子)

2010年、乳癌との闘いの末、河野裕子はやはり歌人の夫永田和宏とわが子に見守られて死んだ。臨終時の口述筆記の歌である。「歌は遺り歌に私は泣くだろういつか来る日のいつかを怖る」(永田和宏)。

◆終止符を打ちましょう そう、ゆっくりとゆめのすべてを消さないように (笹井宏之)

難病をかかえ、透明感あふれる詠風で将来を囑望された作者は、正岡子規の死から107年後の2009年、心臓麻痺で26年の生涯を閉じた。この歌はいまも彼のブログ(母親が更新)でみることができる。

※参考：永田和宏『近代秀歌』、菅野匡夫『短歌で読む昭和感情史』、林和清『日本の涙の名歌100選』

国宝展を訪ねて

学習センター客員教員 梅澤 直樹

縄文のビーナス

今秋、京都国立博物館で国宝展が開かれた。建造物を除く国宝の美術工芸品は885件だが、そのなかの210件が4期の会期中に順次展示されるということで人気も高く、読者のなかにも訪問された方が多かったのではないだろうか。私自身も二度訪れ、二度目には平日であったにもかかわらず入場まで50分前後待った。

前半の会期で最大の話題となっていたのは国宝指定の雪舟の水墨画6点が一堂に揃うということであったが、私にとってもっとも印象深かったのは縄文期の土器であった。それも、やはり前評判の高かった深鉢型土器（火焰型土器）ではなく、縄文のビーナスや縄文の女神と呼ばれる土偶の女神像であった。もちろん、私がもう少し鑑賞眼や知識を備えていれば、一堂に揃った雪舟をもっと味わえたであろうし、縄文時代にこれだけの装飾性を実現しえた深鉢型土器の製作技術の高さをより理解しえたであろう。ただ、それら女神像には、素朴だけれども現代に通じる美的センス、ある種のモダンさを感じた。数千年の時間（とき）を超えてそうしたものを感じさせる作品が創られていたことに、縄文時代とはどのような時代であったのかとあらためて古代に想いを馳せ、ロマンを膨らませる契機となった。

百聞は一見に如かず？

二度目に訪れたのは第Ⅲ期で、目当ては長谷川等伯の松林図屏風と牧谿の観音猿鶴図、そして倭奴国王金印であった。また、この期の展示物では、神護寺所蔵の源頼朝らの肖像画も注目を集めていた。これらのうち、もっとも印象深かったのは、金印であった。というのは、これは2.3cm四方、重さ100g余りというきわめて小さなもので、教科書を通じて誰もが知っているというその知名度から勝手に想像していた印象とはずいぶん違ったからである。小さいといっても、ピカピカに磨かれたその純金の光は十分な存在感を示すものであったのだが。それに対して、やはり教科書を通じて知ってはいても、というより教科書に縮小されて掲載されていたからこそ、その大きさに気づかなかったのが源頼朝らの肖像画であった。大雑把に見れば衣装やポーズはほぼ同じで細密に顔だけを描き分けられた3人の肖像画ではあるが、その表情で3人の性格を鮮やかに表わしている技量の確かさ、よく見ると緻密に施された袍の文様などとともに、ほぼ等身大と思われる肖像の大きさなど、教科書からはうかがうことのできないものであった。先の金印とともに、まさに実物に触れることの魅力である。こうした点は、信貴山絵巻など、教科書を通じて知ってはいても初めて実物に接することのできた多くの展示物にも当てはまる場所であった。

国宝のグローバル性

もう一つの目当てであった等伯の松林図屏風と牧谿の観音猿鶴図からは、日本文化のグローバルな性格を再認識させられた。等伯の松林図屏風は日本の水墨画の白眉をなすものとされるが、そこに表現された湿り気を帯びた大気、あるいは微かな光は、まさに牧谿の技法から学んだものだったのであり、両作品の展示もそれを意識してすぐ隣室に配置されていた。さらに、この牧谿の作品がそうであったように、足利將軍の蒐集したいわゆる東山御物には唐物が数多く含まれ、日本の美術工芸に大きな影響を及ぼしたということであり、中国画の展示コーナーもあった。じっさい、国宝の美術工芸品855件のうち、中国からの渡来品は122件に及ぶという。そのなかには、第Ⅱ期の展示物のなかで深い印象を残した清凉寺の釈迦如来立像のようにインド由来のものも含まれている。

このように、今回の国宝展は、時間的にも、空間的にも、国宝ひいては日本文化を視野広く捉えるべきことをよく教えてくれるものであった。

第18回 かいつぶり文化祭 の報告

11月5日(日)に学友会(かいつぶり)主催による「第18回かいつぶり文化祭」が開催されました。

玄関ロビーの展示会場には、絵画・陶芸品・手芸品・写真・和歌俳句・生け花・盆栽など学生の制作した作品が多く展示されました。

午前中は、「知事3年を終えて 取り組みと今後の展望」と題して、滋賀県知事の三日月大造氏の講演会が行われ、90名の参加者に熱い思いを語られました。

お昼には和気藹々の懇親食事会、そしてかいつぶり学友会の活動DVDの放映を楽しみました。午後からは作品鑑賞・血圧測定、初の試みの輪ゴム体操・吹き矢体験 そして映画鑑賞も楽しみました。

この日ばかりは、滋賀学習センターも終日多くの学生さんでにぎわいを見せていました。



平成29年度 研修旅行 の報告

11月23日(勤労感謝の日)は当センターの学生研修旅行が実施されました。今年の研修旅行も例年に変わらず、参加募集の開始早々に定員に達して、総勢40名(引率含む)の参加者が元気に滋賀学習センターを出発しました。

今年の研修先は鈴鹿の関宿と、松阪の松坂城跡や本居宣長記念館などでした。引率の秋山元秀先生にはA4用紙12ページにも及ぶ「旅の栞」を準備していただき、行き帰りの車中や各訪問先で、眼に映る風景から歴史に名を残す偉人の業績まで、また付随する脇道の話をつけ加えて、一日中精力的にお話ししていただきました。

参加された学生の皆さんは、天候にも恵まれた初冬の宿場町や城下町の散策を、天守跡に向かう坂道にしんどい思いをされながらも、しかし楽しみのお昼はレストランで和気藹々のうちに舌鼓をうちながら、相互の親睦を深めることができました。大変有意義な一日であったことと思います。



勉強会のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターWEB ページ及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



吉川 栄治 先生 | 古典入門

古典文学になじんでもらうため、内容がおもしろく文章が平易な作品を読みながら、文学史や文法も解説します。本年度は『徒然草』を取り上げます。

1月 9日(火) 10:30~12:00

2月13日(火) 10:30~12:00

2月27日(火) 10:30~12:00

3月13日(火) 10:30~12:00



天野 耕二 先生 | 水の未来と持続可能な社会

「水の未来——グローバルリスクと日本(岩波新書)」という本を読みながら、水資源問題を中心に持続可能な社会を考えていきます。

1月10日(水) 13:00~14:30



石田 法雄 先生 | ちょっと英会話その4

簡単な英会話です。時に英文法の解説をします。趣味・趣向、最近の出来事などを主なテーマとしています。

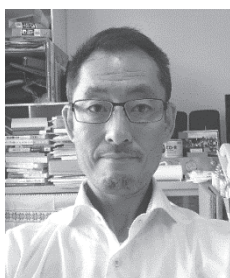
1月12日(金) 13:30~15:00

2月 2日(金) 13:30~15:00

2月16日(金) 13:30~15:00

3月 2日(金) 13:30~15:00

3月 9日(金) 13:30~15:00



井上 辰樹 先生 | 健康と運動

人類にとって運動とはいかなる価値を持つのか、また現代社会において運動不足の与える影響とはについてみなさんと一緒に身体を動かしながら、考えていきたいと思えます。

2月16日(金) 11:00~12:30

3月 9日(金) 11:00~12:30



梅澤 直樹 先生 | アンケート調査の活用法を学ぶ

レポートや論文を書く際にしばしば利用するアンケート調査など社会調査を正しく活用するために注意すべき事柄について、具体例を交えたわかりやすい2冊の新書を通じて学びます。

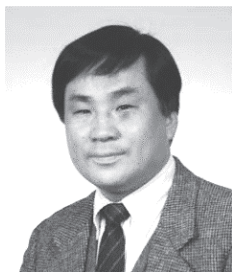
1月5日(金) 10:30~12:00

2月2日(金) 10:30~12:00

2月 9日(金) 10:30~12:00

3月2日(金) 10:30~12:00

3月16日(金) 10:30~12:00



小堀 聡 先生 | 岩波新書で「脳科学」を読む

第1学期に引き続き、理化学研究所編『脳科学の教科書・こころ編』(岩波ジュニア新書)を読みます。少しずつ読み進め、分かりにくいところは講義で補いたいと思います。

1月11日(木) 10:00~11:30



**蔵永 瞳 先生 | 進化心理学と社会心理学の視点から読み解く
現代日本**

長谷川・山岸(著)「きずなと思いやりが日本をダメにする」の輪読と解説を行い、現代日本の心と社会の問題について考えます。

1月 9日(火) 10:30~12:00

1月12日(金) 10:30~12:00

2月20日(火) 10:30~12:00

2月27日(火) 10:30~12:00

3月 8日(木) 10:30~12:00

3月22日(木) 10:30~12:00

所 長	吉川 栄治	放送大学特任教授・滋賀大学名誉教授	国文学
客員教員	天野 耕二	立命館大学教授	環境システム工学
	石田 法雄	滋賀県立大学名誉教授	宗教学・英語英文学
	井上 辰樹	龍谷大学教授	公衆衛生学・運動生理学
	梅澤 直樹	滋賀大学名誉教授	社会経済学
	小堀 聡	龍谷大学教授	認知科学
	蔵永 瞳	滋賀大学講師	社会心理学・教育心理学

学習相談 のご案内

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は、次の手続きをお願いします。

- ①事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ②原則、勉強会終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時等を調整後、ご連絡いたします。
- ③所長の学習相談会は、毎週火曜日 14:00~15:00 です。卒業研究や学習の進め方についてなど、お気軽に窓口までお申し出ください。なお、出張等による不在日がありますので、事前に事務室へご確認ください。

事務室か らのお知 らせ

図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、通信指導の添削、単位認定試験の期間・時間割・携帯品、また今学期で卒業見込みの方、学籍が切れる方、次学期も学籍が続く方の、それぞれの手続きなどについてご案内します。

図書・再視聴室の利用について

■利用方法

- ①利用期間 月曜日・祝祭日を除く。1月26日(金)は臨時閉所します。
- ②利用時間 通常期間=9:15~17:45 / 試験期間中=9:00~18:45
- ③貸出期間 1週間以内
- ④貸出本数 学生の種類毎に1回につき3巻以内
- ⑤貸出停止 図書: 1月5日(金)~1月28日(日)、3月10日(土)~4月7日(土)
放送教材: 1月12日(金)~1月28日(日)、3月17日(土)~4月7日(土)
- ⑥返却方法 学習センター閉所日や開所時間外は玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。
開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。
- ⑦返却期限 現在貸出中の図書・放送教材は1月11日(木)、1月30日(火)以降に貸出した図書・放送教材は3月16日(金)までに返却願います。

■ロッカーおよびメッシュケースの利用

- ①学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。
- ②ロッカーの利用は当日限りとし無料です。(利用するには100円必要ですが、使用後に戻ります。)
- ③カウンターにメッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

通信指導の添削結果について

通信指導の合格により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。未提出、あるいは不合格の場合は受験できません。通信指導の合否結果は、添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知(受験票)」によって通知されます。

添削結果返送時期は2017年12月末頃です。択一式は1月5日(金)、記述式は1月16日(火)までに届かない場合は、大学本部(Tel: 043-276-5111)に連絡してください。詳しくは、「学生生活の葉」学部: 65頁~67頁、大学院: 59頁~62頁を参照ください。

単位認定試験について

単位認定試験については、「受験票」、受験票に同封の「単位認定試験に際しての注意事項」および「学生生活の葉」(学部: 67頁~74頁、大学院: 62頁~69頁)を熟読してください。

■試験期間

大学院 1月19日(金)~1月20日(土)

教養学部 1月21日(日)~1月28日(日) ※1月22日(月)、26日(金)を除く

■当日必要なもの

単位認定試験通知 (受験票)	試験日の約1週間前までにご自宅に送付されますが、1月12日(金)になっても届かない場合や紛失した場合は、大学本部(Tel: 043-276-5111)に連絡してください。
学生証	学習センターで発行します。発行するためには、事前に写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。写真票は、試験日まで余裕をもって大学本部に提出してください。(発行には数日かかります)
H Bの黒鉛筆	シャープペンシルは不可です。
持込み許可物品	受験票に同封されている「単位認定試験受験に際しての注意事項」に記載されていますので、必ずお読みください。 【注意】学習センターでは、持込み許可物品の貸与はできません。

■時間割と注意事項

第1時限	9:15~10:05	第5時限	14:25~15:15
第2時限	10:25~11:15	第6時限	15:35~16:25
第3時限	11:35~12:25	第7時限	16:45~17:35
第4時限	13:15~14:05	第8時限	17:55~18:45

- ①試験開始の10分前までに、受験票に指定された試験室に入室してください。
- ②試験時間は50分です。
- ③1時限に1科目の受験です。
- ④遅刻は試験開始後20分まで認められますが、時間の延長はありません。
- ⑤試験開始30分経過後は退室することができます。(一部リスニング科目を除く)
- ⑥自家用車で来る方は、事前に事務室で「入構許可証」発行を済ませてください(『利用の手引き』巻末にある「入構許可申請書」に必要事項を記入の上提出してください)。学習センター前駐車スペース満車時は、バス停奥の大駐車場をご利用ください。なお、「入構許可証」の発行は、駐車を確約するものではありません。全ての駐車スペースが満車の場合、駐車できないこともありますので、ご承知おきください。

■試験結果

試験結果は、2月下旬に「成績通知書」によって通知されます。システム WAKABA の「履修成績照会」でも成績を確認することができます。なお、「成績通知書」に、それまでに修得した授業科目の成績と単位数が記載されている「単位修得状況一覧(単位認定書)」が同封されますが、この通知書等は証明書ではありません。

次学期にむけての手続きについて

- 次学期も学籍が続く方 「学生生活の葉」学部：56頁～61頁、大学院：51頁～57頁参照
 期間内に次学期の科目登録をしてください。

申請期間 郵送 : 2月27日(火)まで ※私書箱必着
 システム WAKABA : 2月28日(水) 24:00

提出物 科目登録申請票

注意事項 科目登録決定通知後、所定の期日までに学費の振り込みがない場合、または所定の学費の額に満たない金額が振り込まれた場合は全て授業科目の登録は無効となります。

■ 3月で学籍が切れる方

学習を継続される方、再試験を受ける方は継続入学をしてください。

申請期間

第1回	システム WAKABA	2017年12月1日～2018年2月28日
	郵送	2017年12月1日～2018年2月28日(必着)
第2回	システム WAKABA	2018年3月1日～2018年3月20日
	郵送	2018年3月1日～2018年3月20日(必着)

提出物 継続入学用出願票

注意事項 選科生、科目生から全科生へ入学する場合は、一般の募集要項を取り寄せて、綴じ込みの「全科履修生出願票」で出願してください。新規に科目登録をせず、再試験のみを希望される場合は、「今回は再試験のためだけの出願である」の欄に○を付けてください。

■ 今学期で卒業見込みの方 「学生生活の葉」学部：90頁～95頁参照

学習を継続される方は、以下の通り入学手続きをしてください。

システム WAKABA
を活用しましょう！



【学籍が続く方】

① 卒業となった場合の手続き

申請期間

第1回	システム WAKABA	2017年12月1日～2018年2月28日
	郵送	2017年12月1日～2018年2月28日(必着)
第2回	システム WAKABA	2018年3月1日～2018年3月20日
	郵送	2018年3月1日～2018年3月20日(必着)

提出物 継続入学用出願票

② 卒業とならない場合に備えての手続き

申請期間 郵送 : 2月27日(火)まで ※私書箱必着

システム WAKABA : 2月28日(水) 24:00

提出物 科目登録申請票

【学籍が切れる方】

申請期間

第1回	システム WAKABA	2017年12月1日～2018年2月28日
	郵送	2017年12月1日～2018年2月28日(必着)
第2回	システム WAKABA	2018年3月1日～2018年3月20日
	郵送	2018年3月1日～2018年3月20日(必着)

卒業となった場合の手続き

提出物 : 継続入学用出願票

卒業とならない場合に備えての手続き

提出物 : 学生募集要項出願票

公開講座 のご案内

本年度第2学期の公開講座<人間探究>を開催します。定員は100名、参加費は無料です。一般の方もお誘い合わせの上ご参加ください。参加方法・概要は、掲示板あるいは学習センターWEBページなどでご案内しています。

■日時 : 2月18日(日) 14:00～15:45

■会場 : 放送大学滋賀学習センター

■演題 : 「笑いは生きる力 —ユーモアがもたらす人生の妙味—」

住岡 英毅 滋賀大学名誉教授



スケジュール



1 月				2 月				3 月			
日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容
1	月		元日 年始閉所日(～1/3)	1	木	○	教員免許更新講習放送授業開始 (インターネット配信～3/4)	1	木	○	第2回出願受付開始(～3/20)
2	火		閉所日	2	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	2	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30
3	水		閉所日	3	土	○		3	土	○	教員免許更新講習修了認定試験
4	木	○		4	日	○		4	日	○	教員免許更新講習修了認定試験 教員免許更新講習放送授業終了(インターネット配信)
5	金	△	【勉】梅澤10:30 図書のみ貸出停止(～1/11)	5	月		閉所日	5	月		閉所日
6	土	△	面接授業	6	火	○		6	火	○	
7	日	△	面接授業	7	水	○		7	水	○	
8	月		成人の日(閉所日)	8	木	○		8	木	○	【勉】蔵永10:30
9	火	△	【勉】吉川10:30 【勉】蔵永10:30	9	金	○	【勉】梅澤10:30	9	金	○	【勉】井上11:00 【勉】石田13:30
10	水	△	【勉】天野13:00	10	土	○		10	土	△	図書のみ貸出停止(～3/16)
11	木	△	【勉】小堀10:00 図書・放送教材返却最終日	11	日		建国記念の日(閉所日)	11	日	△	
12	金	×	【勉】蔵永10:30 【勉】石田13:30 図書・放送教材貸出停止(～1/28)	12	月		閉所日	12	月		閉所日
13	土	×		13	火	○	【勉】吉川10:30 H30-1科目登録申請(面接授業を含む)受付開始	13	火	△	【勉】吉川10:30
14	日	×		14	水	○		14	水	△	
15	月		閉所日	15	木	○		15	木	△	
16	火	×		16	金	○	【勉】井上11:00 【勉】石田13:30	16	金	△	【勉】梅澤10:30 図書・放送教材返却最終日
17	水	×		17	土	○		17	土	×	図書・放送教材貸出停止(～4/7)
18	木	×		18	日	○	公開講座	18	日	×	
19	金	×	第2学期大学院単位認定試験 集中科目履修生(看護)単位認定試験(再試験)	19	月		閉所日	19	月		閉所日
20	土	×	第2学期大学院単位認定試験 第2学期放送授業終了	20	火	○	【勉】蔵永10:30	20	火	×	
21	日	×	第2学期教養学部単位認定試験 集中放送授業(再放送等)開始(～3/31)	21	水	○		21	水		春分の日(閉所日)
22	月		閉所日	22	木	○		22	木	×	【勉】蔵永10:30
23	火	×	第2学期教養学部単位認定試験	23	金	○		23	金	×	
24	水	×	第2学期教養学部単位認定試験	24	土	○		24	土	×	図書・放送教材整理・再視聴室閉室(～3/31)
25	木	×	第2学期教養学部単位認定試験	25	日	○		25	日	×	卒業証書・学位記授与式、入学者の集い
26	金	×	臨時閉所日	26	月		閉所日	26	月		閉所日
27	土	×	第2学期教養学部単位認定試験	27	火	○	【勉】吉川10:30 【勉】蔵永10:30 H30-1科目登録申請(面接授業を含む)受付期限(郵送)	27	火	×	
28	日	×	第2学期教養学部単位認定試験	28	水	○	H30-1科目登録申請(面接授業を含む)受付期限(Web) オンライン授業終了	28	水	×	
29	月		閉所日					29	木	×	
30	火	○	図書・放送教材 貸出可(～3/10)					30	金	×	
31	水	○	体育実技単位認定申請期限	○:図書・放送教材貸出可 △:図書のみ貸出禁止 ×:図書・放送教材貸出停止 【勉】勉強会				31	土	×	集中放送授業(再放送等)終了